

# 「ひと」と「くらし」の未来研究会 Season 2

～新たな地域価値創造に向けて～

# 『「ひと」と「暮らし」の未来研究会』について

- コロナ禍を経て、人々の生活様式が大きく変化する中、居心地がよい日常の「暮らし」を実現するには、各地域に住まい、集う「ひと」に着目し、「暮らし」に関わるあらゆる産業分野や地域コミュニティデザインの担い手と連携しながら、地域の新たな価値や可能性を創造していくことが求められている。
- 不動産業界と地域コミュニティデザインの最前線で活躍中のメンバーで構成される研究会を令和3年5月に立ち上げ、全5回開催。令和3年6月に中間整理を実施。

## 【コアアドバイザー】

青木 純 (株)まめくらし 代表取締役 / (株)nest 代表取締役  
川人 ゆかり 合同会社ミラマール 代表社員  
古田 秘馬 プロジェクトデザイナー / (株)umari 代表取締役

## 【参加団体】

公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会  
一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会  
公益財団法人日本賃貸住宅管理協会  
公益社団法人全日本不動産協会

## 【オブザーバー】

一般社団法人マンション管理業協会  
公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会  
省内関係各局各課、各地方整備局建政部建設産業課等

## 【事務局】

国土交通省不動産・建設経済局参事官付  
(株)船井総研コーポレートリレーションズ

## 第1回（5月10日） 研究会で取り扱うテーマの設定

### 第2回（5月27日）「歳を重ねても幸せなくらし」（介護・福祉×不動産業）

（ゲストスピーカー）

首藤 義敬 (株)Happy 代表取締役  
山本 遼 (株)R65 代表取締役  
横木 淳平 (株)STAYGOLD company 代表取締役 / 介護クリエイター

### 第3回（6月3日）「ベーシックインフラの豊かなくらし」（地元経済×不動産業）

（ゲストスピーカー）

磯野 謙 自然電力(株) 代表取締役  
榎原 友樹 (株)E-konzal 代表取締役 / (株)能勢・豊能まちづくり 代表取締役  
原 大祐 (株)Co.Lab 代表取締役

### 第4回（6月14日）「beyond コロナの新しいくらし」（これからの不動産業）

（ゲストスピーカー）

安達 鷹矢 (株)Local PR Plan 代表取締役  
丑田 俊輔 シェアビレッジ(株) 代表取締役  
村瀬 茂高 WILLER(株) 代表取締役

## 第5回（6月24日） 中間整理

○国土交通省HPにて過去の研究会の資料等をご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo/miraiken.html](https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/miraiken.html)

※「ひとと暮らし 国土交通省」で検索すると検索結果上位に掲載されます。

(2021/10/4現在 一部検索サイトにて)

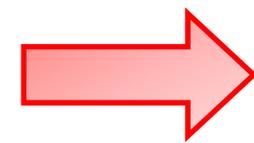
○YouTube MLIT channelでは過去の研究会の様子を動画でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/user/mlitchannel>

※これまでの研究会の様子を15分ほどでまとめた  
ダイジェスト動画も配信中です。



## 幸せな「暮らし」の実現



幸せの総量の  
最大化

業種を越えた連携

コミュニティによる相互補完

ベーシックインフラ

地域内  
経済循環

住宅供給

地域防災

物質的には充足

=あらゆる産業と連携したコミュニティ創出

地域の暮らしに関わるあらゆる「境界」を越えた  
コミュニティの『空間』・『場』の創出

不動産業

官民を問わない地域のコミュニティへの参画

行政

企業

NPO

社会的弱者

高齢者

女性

学生

外国人

性的マイノリティ

多様な個性

不動産業、賃貸住宅管理業は、

まぎれもなく、地に足のついた

社会に必要不可欠な

クリエイティブ産業。

- Season 1の中間整理の方向性を実践へとつなげるべく、『「ひと」と「暮らし」の未来研究会』Season 2を始動します。
- 「一歩を踏み出そうとする人を発掘し、巻き込む」といったコンセプトのもとに、全国各地で「幸せな暮らし」の実現に向けた取組の**実地調査を行い**、先進的な不動産業者の取組や地域コミュニティとの関わり方について、ケーススタディを進めていきます。  
(新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、月1回ほどのペースを予定)
- 今年度末を目途に、各地のノウハウを取りまとめる予定です。

**【コアアドバイザー】** 青木 純 株式会社まめくらし 代表取締役 / 株式会社nest 代表取締役  
川人 ゆかり 合同会社ミラマール 代表社員  
古田 秘馬 プロジェクトデザイナー / 株式会社umari 代表取締役  
渡邊 享子 株式会社巻組 代表取締役

**【参加団体】** 公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会  
一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会  
公益財団法人日本賃貸住宅管理協会  
公益社団法人全日本不動産協会

**【オブザーバー】** 一般社団法人マンション管理業協会  
公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会  
省内関係各局各課、各地方整備局建政部建設産業課等

**【事務局】** 国土交通省不動産・建設経済局参事官付、(株)船井総研コーポレートリレーションズ



中間整理後は議論だけではなく実験の段階に入ってくると思う。  
やったことがないことを始める時のはじめの一步がすごく大事。  
ケーススタディの共有の方向に仕向ける必要があると思う。  
やれそうな人達と一步を踏み出し、積み重ねることが必要。

フィールドワークに行きたい。

各地の事例を色々な角度でみていくことで他でも再現性があるかもしれない。  
業種間連携やコミュニティ形成において、何から始めてよいかわからない人も多いと思うので、この研究会からケーススタディを出していけると良い。



→Season2のコンセプト。「一步を踏み出そうとする人を発掘し、巻き込む」。



**前例がないと思考も含めて止まってしまう。**

だが一度突破すると皆の視点が変わり、次から次へと可能性が広がっていく。法律を変えるとなると時間もお金もかかってしまうので、現状をこう解釈すればよいとか、時代が変わってこう解釈できるようになった、というものがあればよい。

前例がないからダメになることと、前例を作りたくないことの両方の問題がある。

**前例として認めてもらうためには、勝手にやっているわけではなく、稼いだことが循環し、公益性があると大義をみせていくことが大事。**



地域住民のコンセンサスを得る上で、プロジェクトを良いものだとして理解してもらう必要がある。若い人が何かやっていると理由なく否定されることがある。

**外から認めてあげることは重要。**

**→各地の成功事例を調査・検証しながら、どのように各事例が公益性を有したプロジェクトとして地域に浸透していったか、共通項を見つけ出す。**

- 行ってみたい地域・事業者について
- どういったことが「共通項」として考えられるか
- そのほかSeason2でやってみたいこと

※議論中、視聴者の皆様もコメント欄からご意見を是非お寄せください  
(終了後にアンケートもございます)

○次回の開催時期は検討中

→国土交通省ホームページ等でお知らせします。

○国土交通省HPにて過去の研究会の資料等をご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo/miraiken.html](https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/miraiken.html)

※「ひととくらし 国土交通省」で検索すると検索結果上位に掲載されます。

(2021/10/4現在 一部検索サイトにて)

○YouTube MLIT channelでは過去の研究会の様子を動画でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/user/mlitchannel>

○会議終了後のアンケートに是非ご協力をお願いします。